



北陸中日新聞 かほく北販売店
麻生新聞店
〒929-1215
かほく市高松コワー1
TEL 281-0856 FAX 214-5207
Mail hamanasu417@gmail.com
HP [はまなす通信](#)

もっともっとクイズ

はまなす川柳の特集のため、今号でも「もっともっとクイズ」はお休みになりました。ハガキをご用意されていた方、メール下書きされていた方、誠に申し訳ありません。

読者さんから



- ◇26に投票 本音は自分のを投票したいが、必ず誰かに頼る時に言わねばならぬ大事な言葉と気持ちですね。(高松 MAさん)
- ◇21に投票 私共も共感できるものです。(高松 HGさん)
- ◇28に投票 いや〜ん、痛いところかないで!!(中沼 TKさん)
- ◇13に投票 いつも(なるべく)笑い顔で過ごす事にしています。(木津 SOさん)

※上記の数字は投稿句に振られた番号です。どんな句だったか気になる方は、当店HPの「みにこみはまなす通信」ページで確認をお願いいたします。

はまなす川柳

急ぎよ行いました読者投票にご協力頂き、まことにありがとうございます。厳正な審査の結果をお知らせします。

大賞

老いたとて「あんやとたのんね」忘れない 高松 水田義和様

優秀賞

「大」部門	大空のへりに能登への祈りこめ	高松 浜防風様
「笑」部門	アクロスで頭剃る人ヒゲ剃らぬ人	中沼 城戸 勉様
「継続」部門	継続は力なるほど酒量増え	木津 井口武久様

入選

「大」部門	平均寿命いつか超える103の壁	木津 気谷玲子様
「笑」部門	車椅子 家族旅行で笑が出る	木津 井口るり子様
「継続」部門	「今日やろう」「明日やろう」が継続中	高松 隣人様

あとづけ部門賞

来場所も楽しみで賞	大银杏 結えぬ小天狗 里が咲れ	松浜 H.S様
きっと福が来るで賞	泣き面より満面笑顔で福	高松 青崎瑞代様
胸が高鳴るで賞	あこがれは来る年笑い夢えがく	高松 S.R様
笑顔の花が咲くで賞	ウケ狙いオチに至れず 噴き出した	高松 たわけ様

読者投票・スタッフ投票の結果から

・・・「はまなす川柳傾向と対策」講座・・・

・特別なことでなく、日常生活で誰にでもありそうな事柄

・川柳らしい風刺よりも、クスリと笑えるもの

・温かさ、明るい雰囲気

・易しい+優しい言葉

に共感が集まりやすいようです。ご参考までに。

胸が潰れる思いでへりを見上げていたあの頃から1年。下の隣人氏エッセイにもありますが、能登への関心が薄れ足を向けることもない毎日。本通信でもできることを模索中です。

「まなざしを 能登へ」

妻が助手席から話しかけてくる。

「昨日、珠洲出身の人に『明日、能登町真脇に行く』と言ったら、『だったら、車高(最低地上高)の高い自動車でないといダメだよ』と言われた」...。能登に向かったのは今年の10月15日。どちらかというとも車高の低いクルマなので、頂いた忠告を念頭に道路状況を確認しながら里山海道を慎重に進んでいく。柳田インターを過ぎてしばらく行くと、震災から9ヶ月を過ぎても復旧はいかにも急場しのぎの感で、道路は酷く傷んでいる。人も重機も絶対的に不足しているだろうし、やむを得ない状況なのだろう。

くずれた崖や、道路の陥没の様子に驚きつつ、何とか無事現地に到着。能登町真脇の方に用件を伝えた後、話題は「能登地震」に。「ここも被害はあったけれど、珠洲へ向かうともっと状況は酷い」と話す。こちらから「見附島へは行けますか?」と尋ねると「もし時間があるのなら、すぐ近くだから是非様子を見て欲しい」と少し語気強く話された。「能登の状況を知ってほしい」、「いろんな人に見聞きしたことを話して欲しい」という思いが込められていると感じた。

クルマを走らせ、たどり着いた珠洲市宝立町鵜飼の海。これまで幾度となく眺めてきた「見附島」に、「軍艦島」と呼ばれたあの迫力はもう無かった。言葉を失った。

地震発生から時間が経ち、マスメディアの熱も少しずつ冷めているように感じていたが、北陸中日新聞の1面、題字横のトップニュースは「能登地震関連記事」が頻度を保っている。調べてみると12/23から2/8までの47発行分の内、実に33発行分に「能登地震関連」がトップニュースとなっている。

先日、能登からかほく市に住まいを移された方から、北陸中日新聞の購読希望を戴きました。ご挨拶に行くと、能登町真脇の方と同様に「能登に行きたい」「現地の状況を知ってほしい」と話された。

「重い記事ばかり続いて、気持ちも重くなる」という意見も確かにあるけれど、「能登の今を、みなに知ってもらいたい」、その声に北陸中日新聞は応えようとしているのかもしれない。期待してますよ「北中」!



(10月15日 当店スタッフ撮影)